

2021.8.4

内閣府男女共同参画局・男女共同参画推進連携会議

「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」

令和2年度実施事業

# 若年層に向けた 男女共同参画意識を醸成する 教材開発と実証授業

「しょう太くんとあやちゃん どうしたらいいかな？」  
小学校における実践から



滝澤公子、後藤郁子、大崎章弘、千葉和義

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーションセンター

# 本事業の成果物

## 絵本教材

「しょう太くとあやちゃん どうしたらいいかな？」

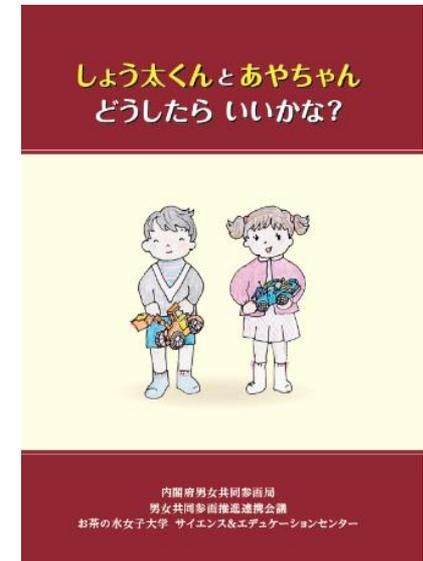
### • ユニークな教材作成

子どもの生活の中で起こるジェンダー平等の課題を身近な物語の中に取り上げ、自発的な気づきを得る。様々な格差、差別の一つとしての男女の課題をとらえる。人の多様な在り方を受容し、それぞれが良さを発揮できる社会を希求。

- 内閣府及びお茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンターHPに公開

<https://www.gender.go.jp/public/event/2020/teachingmaterials.html>

- 内閣府から各県及び政令指定都市の男女共同参画担当課へ冊子を送付



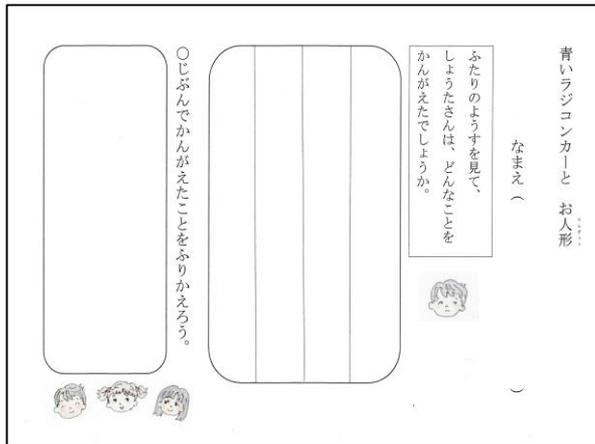
# 「しょう太くとあやちゃん どうしたらいいかな？」

## • 教材から開発した授業内容 小学校道徳科で実施

### 1. 青いラジコンカーとお人形

#### 低学年向け：男女の嗜好性、向き不向きへの固定観念を扱う

#### 物語から1時限の授業用にシナリオ作成



ワークシート

ロールプレイ台本



# 「しょう太くとあやちゃん どうしたらいいかな？」

## 2. 子ども大統領

中学年向け：女子がリーダーとなることへの違和感

## 3. 私たちの未来

高学年向け：性役割を固定化させる慣習、平等、人権

## 4. あやちゃんのやりたいこと

高学年向け：女性と職業選択、女性と理系選択、  
個人尊重、意思決定の立場に女性がつくこと

- 公平公正、平等、人権などの道徳の授業の学習テーマ、ねらいへ  
落とし込む。  
それぞれ資料やワークシートを用意。



# 本事業の成果物 2

## 「『しょう太くとあやちゃん どうしたらいいかな?』 授業案と実践例」

- 教育経験豊かな元小学校教諭（元副校長）との協働作業、授業案を作成収録  
教材検討を重ね、学年に合わせた授業案は、現場の教員が参考にして  
すぐに授業に使うことができる。

- 詳細な授業観察、  
実施記録を複数  
掲載

内閣府男女共同参画局・男女共同参画推進連携会議  
「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」  
令和2年度 実施事業

若年層に向けた男女共同参画意識を醸成する教材  
「しょう太くとあやちゃん どうしたらいいかな?」  
授業案と実践例

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーションセンター  
後援：北区、世田谷区教育委員会

	発問と展開	児童の反応
終末	<p>5 授業を振り返り、思ったことを書きとめる</p> <p>自分たちのもっている偏見に気づく。また、その偏見で嫌な気持ちになることにも気づく。</p> <p>数名が発表</p> <p>○ワークシートに、自分の考えたことを振り返って書きましよう。</p> <p>→講師発言 本当に、いろいろな考え方があるわね。どんどん発表できてすごい。 講師から、児童たちの授業内容の理解、相手へのいたわり、積極的な発言を評価する言葉かけをして終了。</p>	<p>「私はラジコンカーが好きではないけど、今度弟と遊んでみようと思った」</p> <p>「女の子でもラジコンカーが好きでいいと思う」</p> <p>「うちにはお人形があってよく遊ぶけれど、たまには電車レールやラジコンカーで遊んでみたい。」</p> <p>「みんないろいろ違う意見を持っていることが分かった」</p> <p>「私の意見は変わりました。私はラジコンカーに興味がない人ですが、お父さんと一緒にやってみたいです」</p> <p>「みんないろいろな意見を持っていてすごいと思った」</p> <p>「みんな好きなものが違うから、人の好きなものをおかしいとか言わないほうがいいと思います」</p> <p>「私はラジコンカーを持っていないけど、自分のなりたい夢は自由自在。夢の車を作る人になっていいと思う」</p> <p>「どうしてラジコンカーが好きになったのか聞いてみたいと思いました」</p> <p>「男の子用とか、女の子用とか関係ない」</p>

# 活動紹介

- 実施校：  
北区立 柳田小学校 (2019年度実施を含む)  
世田谷区立 奥沢小学校
- 授業実施回数：22回  
全学年にわたって実施  
合計670名余  
この内、オンライン6回、  
(3, 5, 6年生)



写真1,2,3:北区 Facebook

より

お茶の水女子大学

- 教員、校長、保護者への聞き取り  
児童のワークシート集計、解析 ⇒ブラッシュアップ作業

# 本教材作成の狙いや想い

## 小学校で本教材を実際に使用してみたい

# 子どもたちが育つ背景に

- 日本の社会には男女のみならず、様々な格差・差別の意識が根強く残る
- 子どもたちはこうした背景の中で育つ意識の底に植え付けられていく **アンコンシャスバイアス** が、大人社会における男女共同参画社会の実現を妨げる

子どもたちの成長段階のできるだけ早い時期から、互いの良さや多様性を認め合い、男女が自分たちの能力を十分に発揮して良い社会を作っていくことを尊ぶ基本姿勢を醸成することが極めて重要

# 若年層に向けた男女共同参画意識 醸成教材

- 互いの良さや多様性を認め合い、「男女が自分たちの能力を十分に発揮して良い社会を作っていく」ことを尊ぶ意識の形成



自分や他人の「個人の尊厳を守る」という精神性の豊かさの確立  
日本の社会の活力の減少に対抗し得る、多様な人材の育成にも資する

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーションセンターにおいて行ってきた、「若年層に向けた男女共同参画意識を醸成する教材の開発と実証授業」の一環として、2020年度、内閣府男女共同参画局と協働して、教材開発と授業を企画実践、検討を行って啓発教材を作成し公開。

「しょう太くとあやちゃん どうしたらいいかな？」＋「教師用指導書」

# 現場の協力、評価

## 柳田小学校 貝塚一石校長：

- 事前の教員を交えた入念な打ち合わせにより、学校として課題の共有につながった。実際の学校現場の児童や保護者、教員の意識を踏まえた授業計画が作成できた。
- 現場の実態に合わせ、社会情勢にあった話題を学ぶことにより、児童が自分のこととして考えることができた。
- 今後も道徳科の年間指導計画に位置づけて進めていく。

## 奥沢小学校 玉野麻衣校長：

- 道徳科の教材としてこれまでにない視点を持ち、教材研究、実践にふさわしい。
- 子どもにとって学ぶ意義があり、教員の意識も高める内容である。
- 全学年で担任が実施した。互いに授業を見学して検討し、課題を共有している。

# 現場の協力、評価

## 担任教諭

- 事前アンケートで児童の実態を把握できたのが良かった。児童にしょう太さんの気持ちを考えさせるのが良い。
- 違和感のある相手に対し、「相手の話をよく聞いてみる」「相手の好きなことを一緒にやってみる」という意見が出て、クラスが納得したことが良かった。
- 仲よくしようというメッセージにならないよう、補助発問を工夫したい。
- 3年生で実施の後、男子も女子もお互いを認めようと努力している姿を見かけるようになった。もともと、男子、女子と意識することは少なかったが、人としてお互いにいいところはいい、悪いところは悪いと思うようになった。  
今後も、担任する学年の実態に合わせてやってみたい。
- 今後も、授業に取り入れていきたい。特に、4月、5月の学級づくりのときに学習できたら、とてもよいのではないかと感じた。

# 評価

## 参観保護者（柳田小で参観日に授業実施）

- 子どもたちに合わせた説明で楽しい授業。活発に意見が出て良かった。
- 男子・女子のイメージを問い、クラスに実際にその逆の男・女もいることを、子どもたちに気づかせるのはわかりやすいと思った。
- 子どもたちが、人がそれぞれ様々な意見を持つことに気づいたことがとても良かった。
- 性別にかかわらず個性を生かせる社会であるべきと思っているが、小さいうちからそうしたことに気づく、とても良い授業だと思った。



# 小学校での実施、教育委員会との連携から見えてきたこと

# 今後に向けて

## 多くの教員、現場で使ってほしい

- 問い合わせに対応できるシステム、教員向け講習会
- 広く現場への展開するための教科の部会や委員会などの主要なステークホルダーとの連携
- オンライン授業に向けて 動画編集
- 紙芝居、作画物などのコンテンツ化

## 新たなテーマの追加と授業案作成

Diversity,Equity&Inclusion を重視した取組み

お茶の水女子大学版

「ダイバーシティ社会実現のための若年層に向けた意識醸成教材」



# ご清聴ありがとうございました

若年層に向けた男女共同参画意識を醸成する  
教材開発と実証授業

「しょう太くんとあやちゃん どうしたらいいかな？」  
小学校における実践から

